

投資したくなる!

注目のお宝株! 企業大特集

投資先として熱い視線が注がれている魅力企業を厳選して9社ご紹介。このチャンスを見逃すな!

東プ・5261

リソルホールディングス
株式会社

インバウンド活況で増収増益 “勝ち(価値)株”に

代表取締役社長
大澤 勝 氏

「あなたのオフを、もっとスマイルに。」をスローガンに、ホテル運営、ゴルフ運営、リソルの森、福利厚生、再生エネルギー、投資再生の6つの事業セグメントを多角的に展開するリソルホールディングス株式会社。インバウンド需要を追い風に躍進する同社の強みや業績動向、還元施策を深掘りする。



瀬戸内ゴルフリゾート

訪日客の心を掴む ツーリストホテル

2025年3月期決算では、公表(上方修正)を超える利益を計上し、売上高・経常利益・当期純利益のいずれも前期比を大きく上回る数字で着地することができた。5期連続増収に加えて3期連続増益という好業績に貢献した立役者が、6つの事業セグメントの中枢を担う「ホテル運営事業」である。政府主体となつて訪日外国人旅行者の誘致に取り組む中、昨年度の訪日客数は過去最高の3687万人に達し、消費額も8兆円を超える規模となった。

同社は中長期的なインバウンド需要の拡大を見据え、2023年頃よりインバウンドを含めた旅行者をターゲットにツーリストホテル「リソルホテルズ」のブランドینگ強化に着手。「物語のあるホテル」を新たなコンセプトとして、ただ宿泊するだけではない「10の体験価値の提供」によって他社との差別化を図ってきた。

宿泊客に寄り添って懇切丁寧な対応をするコンシェルジュサービスや管理栄養士監修の健康的で美味しいオリジナル朝食の提供など、顧客満足度を高める施策でリピーターを獲得している。このほか、施設周辺エリアの飲食店や観光施設を掲載したマップの作成、舞妓イベント(京都)やホテルロビーでの家族型ロボットの稼働(秋葉原)といった地域性を活かした日本文化体験イベントの実施なども、多くの訪日客から高い評価を得ることに成功しており、ブランドイメージを高めている所以である。

ゴルフ場×ヴィラ で海外富裕層獲得

ホテル事業に次いで、収益基盤の柱となっているのが「ゴルフ運営事業」だ。現在は、昨年8月より通常稼働を始めた「人間カンツリー倶楽部」(埼玉を含む全国18コース(運営連携2コース含む))を展開しており、立地やサービスなど、ゴルフ場の特性に合わせた運営スタイルに定評がある。近年はインバウンドゴルフファー誘致にかかる集客体制の整備とゴルフ場取得にも積極的に取り組んでいる。

コースやサービスのクオリティを重視し、価格ではなく付加価値で存在感を高める戦略をとっており、その一環としてフェアウェイの眺望を堪能できる高級ヴィラを続々と開業している。すでに稼働している「スバ&ゴルフリゾート久慈(茨城)」と「瀬戸内ゴルフリゾート」(広島)に続き、現在は「大熱海国際ゴルフクラブ」(静岡)にて富士山が見える温泉付きヴィラ10棟の建設計画が進行中である。

訪日客のみならず、近年は80代でゴルフを楽しむ国内ブレイヤーが増加していることから、ボリュウムゾーン拡大による継続的な効果も期待することができ。世界的な認知度はまだまだ低いものの、実は世界3位のゴルフ大国である日本。今後の更なる発展も見込まれる中で、宿泊施設とゴルフのノウハウを併せ持つ同社ならではの施策が、今後「ゴルフをするなら日本」という新たな価値を創出することになるだろう。

成長ドライバーとして 期待する福利厚生事業

6つの事業セグメントのうち、次なる成長ドライバーとして注目しているのが「福利厚生事業」だ。子会社であるリソライフサポートが提供するライフサポート倶楽部では、リソルグループの直営施設、利用実績に応じて補助金を精算・返金する「精算プラン」、提携外施設も利用できるカスタマイズ性の高い「プラスチックイース」、宿泊に特化した利用実績のみを支払う「従量制プラン」など、競合他社と差別化を図っている。なかでも特筆すべきなのは「精算プラン」であり、従業員が消化しなかった未利用部分を企業に全額返金する透明性の高い福利厚生サービスとなる。提供する施設やサービスなどへ利用の促進を図り、そこから送客手数料を受け取るという利益構造で、業界標準である固定会費型とは異なるビジネスモデルを確立した。

サービスメニューは、宿泊やグルメ、レジャーにとどまらず、健康・育児・介護支援と幅広く、総数は業界最大クラスとなる285万以上。「多くの方に使ってもらえる、他にはない価値を届ける」という代表・大澤氏の言葉どおり、大手旅行会社各社との提携や新たな検索システムの導入など、顧客満足度の向上に力を注いでいる。

2025年3月期決算では前期比6.8%増の売上高9億6500万円、経常利益は36.2%増となる6200万円で着地しており、業績面でも体制強化の成果が表れている。国内における福利厚生事業の市場規模が巨大であること、また採用促進や人材定着の一要素として福利厚生の重要度が高まっているなど、今後さらなる成長が期待できる。これからは魅力的なサービスメニューの開発と利便性向上に努め、大手金融機関との連携も強化しながら、会員企業獲得を進めていく。

戦略的M&Aで 次なるステージへ

2030年の訪日外国人旅行者6000万人、消費額15兆円という政府目標達成に向けた計画が進んでいる中、インバウンド向けの宿泊施設やゴルフ運営を取り巻く市況は今後とも明るい予想される。このような市場環境をふまえ、同社はリソルの森を含めた、ホテル・ゴルフ運営事業におけるインバウンド需要の取り込みの加速、独自性の強さをいかにした新たな価値創造とブランド力強化によって次なるステージを目指す。ホテル運営事業では、コンシェルジュサービスのさらなる強化で顧客満足度向上とリピーターを創出。ゴルフ運営事業においては、昨年苦戦した夏場の利用者減少への対策として全コースでのクラー付きカートの導入やフェアウェイ乗り入れ、暖地型芝への転換などによるコースメンテ



Sport & Do Resort リソルの森



ホテルリソルトリニティ那覇

ナンス強化を推進し、オフピーク時の稼働率平準化と収益力強化を図る。「借入金」のEBITDA比率2.5倍という数字からみわたると、資金調達の余力も当社の強みのひとつ。資産キャッシュフローを稼ぐのではなく、企業・ブランド価値を一層高める新規運営施設への投資を積極的に行いたい」と代表・大澤氏。引き続き財務の健全性を意識しながら、計画的なホテル出店やホテルのオペレーション業務、リソルブランドに適したゴルフ場の取得、海外への事業進出の検討など、戦略的なM&Aにも取り組んでいく方針だ。また事業規模拡大にあわせて、人的資本投資の拡充やオペレーション共通化、DX推進による業務効率の改善と省人化を進めていくという。

インバウンドマーケットのニーズを着実に捉え、シナジー効果を最大化させるリソルホールディングス株式会社。すでに人気獲得銘柄として日本人投資家から注目を集めている

株主還元方針

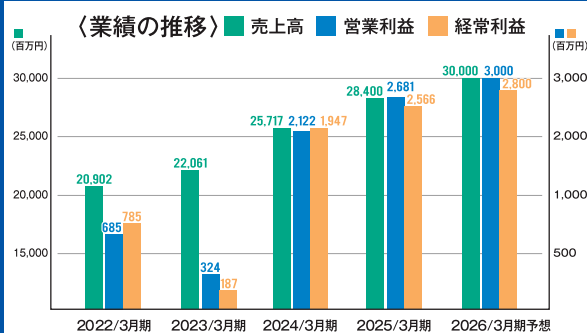
高優待銘柄と話題 期末配当は20円増

所有株式に応じて贈呈される「RESOL ファミリー商品券」(100株以上で年間20000円分)からは、雑誌やメディア等で“狙い目優待銘柄”と紹介されるほどの人気ぶり。期末配当は前期比20円増の1株当たり100円。今後も着実な増配と優待制度の拡充を目指す。

が、今後は数少ないプライム市場上のインバウンド銘柄として海外投資家からも資金を集める犬化け株への変貌が有望視される。

DATA

注:データは2025年6月11日時点



株価

5,130円

配当利回り

1.95%

(今期予想)

POINT

インバウンド需要拡大によるホテル運営事業の大幅な伸びが貢献し、2025年3月期決算は前期比で売上高10.4%増、経常利益31.8%増、当期純利益38.1%増で着地。投資再生事業の利益減少を吸収し増収増益となった。配当性向は28.5%、配当金は100円据え置き(上方修正10円増配、前期比20円増配)となったが、これは世界経済の不透明さを懸念して保守的に設定したものであり今後の増配も期待したい。

企業ロゴ

あなたのオフをもっとスマイルに。

RE/SOL
リソルグループ

DATA

リソルホールディングス株式会社

東京都新宿区西新宿6-24-1

西新宿三井ビルディング12F

詳しくはこちら



スイートヴィラ 忍野 M.FUJI

リソルの森は 単価&稼働率好調

広大な敷地内にホテルやグランピング、ゴルフ場や温浴施設などが集約する「リソルの森」は、グループのランドマーク的存在。宿泊業界が大打撃を受けたコロナ禍での投資・開業は当時異例とされたが、安心して上質な宿泊体験を得られるグランピング施設は大ヒットし、結果として他社が選ばなかった道で新たな収益基盤を築いた。昨年10月に開業した愛大と泊まれる「Dear Wan Spa Garden」も高単価で順調に稼働している人気ぶりだ。全室52㎡超の広さに加え、開放感のあるデッキテラスやウッドチップの専用ドッグラン(135㎡超など)ゆとりある空間設計だ。美肌の湯と評される黒湯の天然温泉などの各種設備も充実している。



Dear Wan Spa Garden